



2025年

もも病害虫防除暦

JA 中野市営農センター

回数	散布日	散布時期	散布薬剤 (水100ℓ当り)	収穫前 使用時期	使用 回数 (以内)	散布量 ℓ/10a	対象病害虫 (発生病害虫)	注 意 事 項
1	月 日	発芽前	(水98ℓ) アブロードフロアブル 100mℓ キンセツ水和剤 80 100g スプレーオイル 2ℓ	14日前 開花直前 発芽前	3回 5回 —	300	せん孔細菌病 縮葉病 カイガラムシ類幼虫 ハダニ類	①【代替】キンセツ水和剤 80・アブロードフロアブルに代えて、石灰硫黄合剤の10倍(発芽前)でもよい。 *石灰硫黄合剤は隣接するハウスビニールにかからないようにする。
◆ せん孔細菌病対策：重要防除期間(開花直前～6月中下旬)の防除と併せて春型枝病斑の切除を徹底し、園地内の菌密度を減らす。								
2	月 日	開花直前	展着剤(アビオン-E) 50mℓ IC ボルドー412 3.3kg	—	—	350	せん孔細菌病 縮葉病	*せん孔細菌病対策 開花直前～6月まで、春型枝病斑の切除を徹底する。
3	月 日	落花直後	展着剤(アビオン-E) 50mℓ サムコルフロアブル10 20mℓ パレード15フロアブル 50mℓ アグレプト水和剤 100g	前日 前日 60日前	2回 2回 2回		せん孔細菌病 黒星病、灰星病 うどんこ病 モモハモグリガ ハマキムシ類	①展葉後のボルドー散布は薬害を生じるため、散布時期を厳守する。 ②【代替】IC ボルドー412に代えて4-12式ボルドー液でもよい。 ③アブラムシ類対策【落花直後の散布】 ウララDFの2,000倍(14日前、2回)を加用する
4	月 日	5月中旬 (前回から 10日後)	展着剤(アビオン-E) 50mℓ モスピラン顆粒水溶剤 25g ストロビードライフフロアブル 50g アグレプト水和剤 100g	前日 前日 60日前	3回 3回 2回		せん孔細菌病 黒星病、灰星病 うどんこ病 アブラムシ類 モモハモグリガ シンクイムシ類 カメムシ類	④アグレプト水和剤、アグリマイシン-100等の使用回数は、合計で2回までとする。尚、ぶどうにかかると種無し果を生じるため、飛散しないよう注意する。 ⑤ストロビードライフフロアブルは、ぶどうにかかると薬害を生じる恐れがあるため注意する。
5	月 日	5月下旬 (前回から 10日後)	展着剤(アビオン-E) 50mℓ トレノックスフロアブル 200mℓ ハチハチフロアブル 50mℓ マイコシールド 66g	7日前 前日 21日前	5回 2回 5回	500	せん孔細菌病 黒星病、灰星病 モモハモグリガ アブラムシ類 シンクイムシ類	①【代替】5月下旬散布：マイコシールドに代えて、クプロシールドの1,000倍(—、—)でもよい。ただし、葉に薬害を生じる恐れがあるため、クレフノンの100倍を加用し、展着剤はハイテンパワーの10,000倍を使用する。
6	月 日	6月上旬 (前回から 10日後)	展着剤(アビオン-E) 50mℓ アルバリン顆粒水溶剤 50g トレノックスフロアブル 200mℓ マイコシールド 66g	前日 7日前 21日前	3回 5回 5回		せん孔細菌病 黒星病、灰星病 モモハモグリガ アブラムシ類 シンクイムシ類 カメムシ類	②シンクイムシ類・カメムシ類対策 ハチハチフロアブルに代えて、イカズチWDGの1,500倍(前日、5回)を使用する。 ③カイガラムシ類対策 コルト顆粒水和剤の2,000倍(前日、3回)を加用する。
特別散布	6月中旬	マイコシールド	66g	21日前	5回	500	せん孔細菌病	せん孔細菌病多発園は、前回散布から7～10日後に今回の散布を行う
7	月 日	6月中下旬	展着剤(アビオン-E) 50mℓ デランフロアブル 166mℓ オリオン水和剤40 100g マイコシールド 66g	7日前 14日前 21日前	4回 2回 5回	500	せん孔細菌病 黒星病、灰星病 ホモブシス腐敗病 アブラムシ類 モモハモグリガ カイガラムシ類	
8	月 日	7月上旬	展着剤(ハイテンパワー) 10mℓ ナリアWDG 50g イカズチWDG 66g	前日 前日	2回 5回		灰星病、黒星病 ホモブシス腐敗病 シンクイムシ類 モモハモグリガ カメムシ類 アザミウマ類	①晩生種以降：せん孔細菌病対策 *収穫前規制に注意する。 マイコシールドの1,500倍(21日前、5回)を加用する。 ②ナリアWDGはぶどう(ピオーネ、サニールージュ)、西洋梨・レクチェに薬害を生じるため、飛散しないよう注意する。
9	月 日	7月中下旬 あかつき等 最終防除	展着剤(ハイテンパワー) 10mℓ マイトコーネフロアブル 100mℓ オンリーワンフロアブル 50mℓ エクシレルSE 20mℓ	前日 前日 前日	1回 3回 3回		灰星病、黒星病 ホモブシス腐敗病 ハマキムシ類 シンクイムシ類 モモハモグリガ ケムシ類、ハダニ類	★有袋品種は除袋後に散布する。
10	月 日	8月上旬 なつっこ等 最終防除	展着剤(ハイテンパワー) 10mℓ ベルコートフロアブル 50mℓ アーデントフロアブル 50mℓ	前日 前日	3回 3回		灰星病、黒星病 ホモブシス腐敗病 シンクイムシ類 カメムシ類 アザミウマ類	★有袋品種は除袋後に散布する。 ①ハダニ類対策 ダニオーテフロアブル2,000倍(前日、1回)を加用する。 ②カイガラムシ類対策 除袋後の散布にコルト顆粒水和剤の2,000倍(前日、3回)を加用する。
11	月 日	8月中下旬 川中島白桃等 最終防除	展着剤(ハイテンパワー) 10mℓ アルバリン顆粒水溶剤 50g オーシャインフロアブル 50mℓ	前日 前日	3回 3回		灰星病、黒星病 ホモブシス腐敗病 モモハモグリガ アブラムシ類 シンクイムシ類	★有袋品種は除袋後に散布する。 ①第11回アザミウマ類対策 ディアナWDGの10,000倍(前日、2回)を加用する。 ②第12回以降【極晩生種】特別散布薬剤 【殺菌剤】 ・オンリーワンフロアブルの2,000倍(前日、3回) 【殺虫剤】(以下のどちらかを選択) ・モスピラン顆粒水溶剤の2,000倍(前日、3回) ・イカズチWDGの1,500倍(前日、5回)
12	月 日	9月上旬 極晩生種 最終防除	展着剤(ハイテンパワー) 10mℓ ベルコートフロアブル 50mℓ アーデントフロアブル 50mℓ	前日 前日	3回 3回		灰星病、黒星病 ホモブシス腐敗病 シンクイムシ類 カメムシ類 アザミウマ類	
13	月 日	収穫後 9月上中旬 ～ 3回散布	展着剤(アビオン-E) 50mℓ IC ボルドー412 3.3kg ダイアジノン水和剤34 100g	— 前日	— 4回		せん孔細菌病 カイガラムシ類 アブラムシ類 ハマキムシ類 シンクイムシ類	①【代替】IC ボルドー412に代えて、ムッシュボルドーDFの500倍(開花前まで)を使用してもよい。 ②コスカシパ対策フェニックスフロアブルの4,000倍(収穫前日、2回)を樹幹及び主枝に十分かかるように散布する。

【安心・安全な農産物生産のために使用基準を厳守しましょう】

混用例：展着剤⇒液剤⇒乳剤⇒顆粒水溶剤⇒水溶剤⇒フロアブル⇒ドライフロアブル(DF)⇒顆粒水和剤(WDG)⇒水和剤

当防除暦の複製・コピーを禁止します